【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和3年1月7日(2021.1.7)

【公開番号】特開2019-95592(P2019-95592A)
【公開日】令和1年6月20日(2019.6.20)
【年通号数】公開・登録公報2019-023
【出願番号】特願2017-224788(P2017-224788)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｆ　9/30　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　27/32　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｆ　9/30　３３０
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ａ
Ｈ０１Ｌ　27/32

【手続補正書】
【提出日】令和2年11月20日(2020.11.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１領域において、第１層に設けられ、かつ、それぞれ第１の方向に平行に配置され、前記第１領域と隣接する第２領域において、第２層に配置された複数の第１配線と、
前記第１領域において、前記第１層に設けられ、かつ、前記複数の第１配線の間に配置され、前記第２領域において、前記第２層と異なる層に設けられた第２配線と、
前記第１領域において、前記第１層に設けられ、かつ、前記複数の第１配線の間に配置され、前記第２領域において、前記第２層と異なる層に設けられ、かつ、少なくとも前記複数の第１配線の一部と平面視で交差するように配置された第３配線と、
を有する表示装置であって、
前記複数の第１配線の一部は、前記第２領域において、前記第１の方向に対してそれぞれ同じ側に傾斜して配置され、
前記複数の第２配線は、前記第２領域において、前記複数の第１配線の一部と平面視で交差するように配置されることを特徴とする表示装置。
【請求項２】
前記第２領域において、前記第２配線及び前記第３配線は、それぞれ分岐点を有し、
前記第１領域において、分岐された前記第２配線及び前記第３配線は、それぞれ平行に配置される、
ことを特徴とする請求項１に記載の表示装置。
【請求項３】
前記第１領域の少なくとも一部の領域において、分岐された前記第２配線及び前記第３配線は、交互に配置され、前記複数の第１配線は、前記第２配線と前記第３配線の間に配置される、
ことを特徴とする請求項２に記載の表示装置。
【請求項４】
前記第１領域において、前記第１配線乃至第３配線は、それぞれ複数の配線の集合で構

成され、
前記第１配線乃至第３配線を構成する各配線は、前記第１配線乃至第３配線の延伸方向に対して、右側に傾斜して配置された領域と、左側に傾斜して配置された領域と、を交互に有する、
ことを特徴とする請求項１乃至３のいずれかに記載の表示装置。
【請求項５】
さらに、前記第１領域の前記第２領域とは反対側に、第３領域を有し、
前記第３領域において、前記第２配線及び前記第３配線は、それぞれ分岐点を有し、かつ、前記第１配線と平面視で交差する、
ことを特徴とする請求項１乃至４のいずれかに記載の表示装置。
【請求項６】
前記第３領域は、画素アレイ部を有する表示領域の周囲に配置された額縁領域であり、
前記第２領域は、前記表示領域の裏面側に配置され、電源電圧及び映像信号を供給される接続領域であり、
前記第１領域は、前記額縁領域と前記接続領域とを連結し、前記接続領域が前記表示領域の裏面に配置されるように湾曲される湾曲領域である、
ことを特徴とする請求項５に記載の表示装置。
【請求項７】
前記第１配線は、映像信号が入力され、
前記第２配線及び前記第３配線は、異なる電源電圧が入力される、
ことを特徴とする請求項１乃至６のいずれかに記載の表示装置。